

この映像について

すでに 12 月に報告させていただいたように、2017 年 10 月下旬から 11 月初旬にかけて、もう一箇所ヨウムのリハビリ施設が作られました。場所は、コンゴ共和国北東部に位置するヌアバレ・ンドキ国立公園の管理事務所があるボマサ基地内です。ゴンベ以外にボマサにリハビリ施設を作ったのは、ヨウムの密猟と押収事件の場所などにより臨機応変にヨウムをすぐに回収・保護することができるようにするためです。

昨今判明したのですが、これまでのゴンベのヨウム舎は伐採会社の敷地に設置しておりましたが、伐採会社の計画する他の建築物の都合で 2018 年中には移動させなくてはならなくなりました。そのため、近日中にゴンベでリハビリ中のヨウム 55 羽をボマサ基地のヨウム舎に移送することに決めました。

伐採基地の機械音が日常的に聞こえてくるゴンベに比べボマサは国立公園に近いので周囲に森が多く、ヨウムのリハビリにとってよりよい環境であります。実際、森を行き交う野生のヨウムとリハビリ中のヨウムとで音声通信をしているかのようにも見えます。またヨウムのリハビリ後の回復もより早い印象があります。

ボマサのヨウム舎は一棟 5 部屋あり、同じく 5 部屋ある二棟目もこの 1 月に完成しました。すべてで 10 部屋が利用可能で、収容できるヨウム数が万が一増えた場合にも対応が可能となります。

この映像はボマサ基地にできたヨウム舎のヨウムと、その周辺の森で聞かれる野生ヨウムの音声です。どうぞ映像とともに音声をお聞きください。野生ヨウムの姿は見えませんが、樹木の上の方におります。

みなさまからのご寄付はボマサ基地のヨウム舎の建築費用の一部に使わせていただきました。心より感謝申し上げます。みなさまからのさらなるご支援、引き続きお待ち申し上げます。

西原智昭 コンゴ共和国北部より